

平成21年度

# 組込み技術者養成コース

～助成金制度を活用して負担軽減を～

## 組込み技術者として必要な情報処理の基礎から

## 組込み開発の基礎までを体系的に修得

受講料及び賃金の一部を補助する助成金申請が可能(裏面参照)

JASAは平成20年度、厚生労働省の『実践型人材養成システム普及のための地域モデル事業』として、組込み技術者養成に必要な「研修カリキュラム」、「評価方法」、「OJT指導者育成」等の開発を受託しています。これは人材育成を「効率的に実施し、かつ負担軽減」を目的とした、厚生労働省の「実践型人材養成システム」と「キャリア形成促進助成金」の認定に密接に関わるものです。

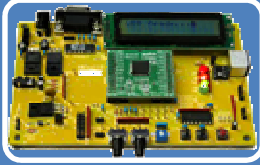
この機会にJASAでは、受託事業を基に、JASA会員企業の効率的な組込み技術者確保のお手伝いをするため、『組込み技術者養成コース』を企画・運営することにいたしました。ぜひ新入社員訓練にご活用ください。

- **研修対象者** 平成21年4月入社予定で、組込み技術部門へ配属予定者  
※キャリア形成促進助成金を申請される場合、「15歳以上、35歳未満」が対象になります。
- **研修目標** 上長支援の下に作業を遂行できるレベル(ETSSスキルレベル1)  
※ETEC クラス2グレードB(2B)取得できるレベル
- **研修期間** 平成21年4月9日～6月12日(40日間:320時間)  
※研修期間中3日間の帰社日:5月7日、5月8日、6月1日
- **研修内容**



### 第Ⅰ部:4月9日～5月1日(16日間)

- ・「コンピュータ基礎」2進法、論理演算、コンピュータハードウェアなど
- ・「ソフトウェア開発基礎」データ構造、アルゴリズム、フローチャート、開発の流れ(V字モデル)など
- ・「C言語基礎」C言語の文法基礎、Printfなど
- ・「C言語実践」構造体、ポインタを使ったプログラミング



### 第Ⅱ部:5月11日～5月29日(15日間)

- ・「組込みシステム基礎」マイコンの仕組み(割り込みなど)、ハードウェアの制御の仕方など
- ・「組込みプログラミング」マイコンボードを用いたプログラミング実習(C言語、アセンブラ)など
- ・「リアルタイムOS入門/演習」リアルタイムOSの役割、システムコールの使い方、タスク管理方法、ドライバの作り方(μiTronベース)など
- ・「状態遷移表設計」状態遷移図・表を用いた設計手法など



### 第Ⅲ部:6月1日～12日(9日間)

- ・「プロジェクト型演習」マイコンボードへ組込むソフトウェアの、開発全行程を疑似体験するチーム演習です。プログラムはC言語で行います。

- **受講料(予定)** 450,000円(税込)  
※組込みソフトウェア技術者試験(ETEC)受験料(1回分)が含まれています。  
※キャリア形成促進助成金を適用すると、受講料と期間中の賃金が助成対象になります。

- **開催場所** 東京都内を予定

※研修効果の都合で、内容について一部変更される可能性があります。  
※「実践型人材養成システム」「キャリア形成促進助成金」の認定を希望される場合は、裏面をよくお読みください。

社団法人  
組込みシステム技術協会  
Japan Embedded Systems Technology Association

本研修ならびに、本研修を利用した「キャリア形成促進助成金」に関するお問い合わせは、ハロープロジェクト事務局までお問い合わせください。  
担当:母里(もり) Mail: mori@jasa.or.jp 電話:03(5821)7973

## 『実践型人材養成システム』『キャリア形成促進助成金』の活用について

JASAは、負担を軽減しつつ、効率的な人材確保・人財育成する方法として、JASA主催「組込み技術者養成コース」と、「実践型人材養成システム」ならびに「キャリア形成促進助成金」の併用をJASA会員企業にお勧めしています。

### 申請条件について

- ✓ 雇用保険適用事業所(の事業主)であること
- ✓ 申請前に職業能力開発推進者を選定し、職業能力開発計画を提出すること
- ✓ 対象者は新たに雇い入れる15歳以上35歳未満の者であること
- ✓ 訓練期間は半年以上、2年以内であること。
- ✓ 訓練時間は年間850時間以上(半年425時間以上)、かつOJTが20～80%を占めること
  - ※JASA主催「組込み技術者養成コース」(Off-JT)は320時間を予定しています。
  - 半年の訓練期間の場合、OJTを105時間以上実施することで条件を満たします。
- ✓ 訓練終了時に客観的かつ公平な方法で職業能力を評価すること



※「訓練」とは、知識と技能を学習するOff-JT(研修)と現場で指導員の下で実習するOJTの両方の組み合わせを指します。

### I. 『実践型人材養成システム』について

現場の中核となる実践的な技能を備えた職業人を育成するため、企業が主体となり、「業務に即した学習(Off-JT)と現場における実習(OJT)を組み合わせるシステム」で、企業が厚生労働省に申請し、厚生労働大臣が当該企業を認定する制度です。

- ① 「キャリア形成促進助成金」の申請が可能になります。
- ② 求人に対して「認定 実践型人材養成システム」として表示することができ、若者の人財育成に積極的な企業であることをアピールできます。

### II. 『キャリア形成促進助成金』について

「実践型人材養成システム」の大臣認可を受けた企業が、新規雇用した者に対して行う訓練(Off-JTとOJT期間・時間)に対して助成金の申請・受給ができます。

#### 【助成金の対象経費】

- <1. Off-JT期間中> ①Off-JTの受講料、②Off-JT期間中の賃金
- <2. OJT期間中> OJTを行った時間に対する賃金
- <3. 訓練終了時> 訓練の習熟度評価

※金額算出詳細は右URLを参照 <http://www.ehdo.go.jp/gyomu/f-3-b.html>



#### 【申請にあたって】

訓練開始前までに、キャリア形成促進助成金受給資格認定申請を行う必要があります。

<A社の例> 一人当たり、6ヶ月で832,880円！

【助成金例の内訳】

Off-JT期間中の助成金：420,000円(研修経費10万円、賃金32万円)

OJT期間中の助成金：408,000円(賃金)

習熟度評価の助成金：4,880円

※助成区分「中小企業」、社員平均賃金月額：40万円、対象者訓練期間中賃金月額：20万円

訓練期間：6ヶ月(Off-JT2ヶ月320時間+OJT680時間)の例です。

※上記は例であり、賃金、訓練内容・形体、就業規則等により変動します。



※新人訓練で重要なOJT(実地演習)に対応する、OJT指導者研修(2日程度)を3月に予定しています。詳細は別途、JASA会員企業にご案内いたします。